

漁場としての横浜周辺の海一

江戸時代、江戸湾(東京湾)近海で獲れる新鮮な海産物は「江戸前」と呼ばれ、江戸に住む 人々は刺身やてんぷら、寿司などにして食していました。横浜周辺の海も豊かな漁場でし た。カレイやタイ、アナゴなど様々な海産物が押送船などで江戸へ送られていました。横浜 周辺の海も江戸前の食文化の形成の一翼を担っていたのです。

戦後から高度経済成長期にかけての臨海部の開発によって、東京湾の漁業は衰退したかに 見えました。しかし、現在では水質は改善し、また豊かな漁場として再生してきています。 そして、横浜の漁業は現在も脈々と続いています。

この企画展では、横浜の漁場を江戸前の食文化、ウオーターフロント開発と関わらせなが ら紹介します。



錦絵 見立月見之内 1862 (文久2) 年 画:豊原国周

旧暦8月15日 (現在の9月頃) の十五夜の月見の宴を描いたもの。中央の料理に、刺 身と鯛の尾頭付きが贅沢に置かれている。宴席での料理に、鯛の料理や刺身など が供されていたことがわかる たばこと塩の博物館蔵 ※10/29(日)まで展示



押送船模型 江戸時代

江戸時代、江戸(東京)湾内で水産物を中心に物資を高速で江戸へ運んだ。押送船の 活躍で、江戸の人々は「江戸前」の魚介を賞味することができた 当館蔵

万祝 明治後期~昭和初期

万祝は、船主や網元が大漁を祝うとき漁師に配った晴 れ着で、ハレの日に着た着物。この万祝は子安で所蔵さ れていたもので、横浜の沿岸部でも万祝を着る習慣が あったことがわかる 加山昇市氏旧蔵 横浜市歴史博 物館蔵 ※10/29(日)まで展示







本牧漁港の漁船の操業 2016 (平成28) 年 撮影:鴇田康則 本牧漁港の漁船の漁の様子。現在の横浜では港の活動と漁業は両立し、 横浜市漁業協同組合では本牧、柴、金沢の3漁港で漁業を営んでいる 横浜魚市場卸協同組合·横浜丸魚株式会社·横浜魚類株式会社蔵



御本丸御菜猟初穂魚通 江戸後期

江戸後期、生麦浦(現 横浜市鶴見区生麦)から、魚を江戸城に 納めた時の記録。生麦は江戸城に水産物を納める「御菜浦」の 1つで、東京湾の海の恵みの豊かさと、横浜の海から江戸に魚 を運んでいたことがわかる貴重な資料 横浜開港資料館蔵



本牧沖の貝の選別 昭和30年代 撮影:落合昭-獲った貝を大きさや種類別に選別しているところ。埋立前の 本牧沖は、採貝、刺突漁、海苔の養殖など漁業が盛んな海 であった 当館蔵

1 横浜の魚を体験 - 親子お魚料理教室

- 時=10月14日(土) 9:00~13:30
- 場=横浜市中央卸売市場 (神奈川区)
- 員=小学4年生~中学3年生とその保護者30名
- (事前申込制、抽選)
- 切=10月4日(水)(必着)

2 記念講演会「環東京湾の魚食文化」

- 時=10月28日(土) 14:00~15:30 Н 師=小泉武夫氏 (東京農業大学名誉教授)
- 場=日本丸訓練センター (横浜みなと博物館隣)
- 員=高校生以上100名
- (事前申込制、抽選)
- 参加費=500円 切=10月18日(水)(必着)



小泉研究室提供

3 親子さかなクン教室

「ギョギョッと!豊かな東京湾の魚たち」

- 時=11月4日(土) 13:30~14:50
- 師=さかなクン (東京海洋大学名誉博士)
- 場=日本丸訓練センター
- (横浜みなと博物館隣)
- 員=小学生とその保護者200名 (事前申込制、抽選)
- 参加費=大人1,000円、小学生500円 切=10月25日(水)(必着)



©2017 ANAW ME AND TM

4 横浜の漁業を知る―海苔工場見学会

- 時=11月8日(水) 9:30~11:30 H
- 場=金沢八景 野島名産 忠彦丸 海苔(金沢区)
- 員=高校生以上20名(事前申込制、抽選) 定
- 参加費=500円 締切=10月31日(火)(必着)

申込方法=往復はがきに参加者全員 (料理教室、さかなクン教室は保護者を含む) の住所、氏名、学年 (料理教室、さかなクン教室のみ) 、電話 番号、行事名を明記して、横浜みなと博物館各行事係まで申し込んでください。申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。

フロアガイド

日時=11月11日(土)、11月26日(日) 各日 ①11:00 ②14:00 場所=横浜みなと博物館特別展示室 参加費=無料 ※ただし常設展示室または企画展の入館料が必要です。当日直接会場へお越しください。

本展覧会では、100年の間に移り変わった新港ふ頭の歴史と役割を紹介します。

次回の展覧会

2018年2月17日(土)~4月15日(日) 展覧会「ずっと港のまんなかに 新港ふ頭」展(仮) 1917(大正6)年に新港ふ頭を含む横浜港第2期築港工事が完成してから2017(平成29)年で100年目になります。

帆船日本丸総帆展帆 10月9日(月·祝)、10月29日(日)、11月12日(日)



● JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車 徒歩5分 みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅下車徒歩5分

横浜みなと博物館 Yokohama Port Museum

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1 帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体 TEL045-221-0280 FAX045-221-0277 http://www.nippon-maru.or.jp/